

「朗読パンダのオリジナルメソッドで、

声優・俳優としての下地を作るワークショップ」

【ワークショップの目的】

声優・俳優を志す人が、限られた時間で実践的な作品作りを通して、演技の引き出しを身につける。なお2019年8月朗読パンダ本公演（池袋芸術劇場シアターウエスト）に出演希望の方は積極的にご参加ください。

【ワークショップの内容】

【前半：大塩講師によるワークショップ】（90分程度）

オーディションの勝負は一瞬で決まります。その一瞬に面白い演技を思いつくには「方法」があることをお伝えします。書き込み式のテキストを用いて演技を構築する思考を鍛え、実践を通して磨きをかけます。即興を通じて、即興とは実は即興で作られるものでないことを実感して頂きます。

【後半：山本講師によるワークショップ】（80分程度）

様々な台本を使用して、チームごとに脚本を読み込みます。なお、扱う脚本に関しては、テレビドラマ・映画・ラジオドラマ・戯曲（朗読パンダ過去公演台本）などになります。

講師：大塩竜也

（漫画原作者、シナリオライター。「最後のお願い」で第4回ヤングジャンプGAG-1グランプリ大賞受賞。「足利尊氏と高師直」名義で『あっ！アシカがっ！！』連載。集英社より単行本発売中。suzuki そして……の筆名でダウンロード型漫画サイトcomicoPLUSにて『地血忌譚』を連載。フジテレビ系『世にも奇妙な物語』では超短編を多数執筆。高校、大学で講師を勤め、劇評・近代文学研究論文、落語論なども多数発表）

（講師からの一言）

インパクトの残し方を履き違えている人が多数である中、正しいインパクトの残し方を身に付けることは演者として生き残る絶対的な武器となるはずです。本WSを通じ、正統派から無茶振りまで、実は基本は同じだと実感してもらえると確信しています。

講師：山本陽将

（シナリオライター／演出家。TVドラマ・映画の企画開発に関わりながら、舞台・ラジオ・漫画シナリオなどを幅広く手掛け、「世にも奇妙な物語'14 秋の特別編」（フジテレ

ビ)で超短編の脚本を執筆。主な作品に、実写ドラマ「弱虫ペダル」(スカパー!)脚本、明治座「SAKURA JAPAN IN THE BOX」構成協力、漫画「最果てにサーカス」(月刊スピリッツ)シナリオ協力などがある)

(講師からの一言)

短い時間の中ですが、短編作品を読み込み、作品作りをすることで、まずは演技の楽しさを実感して頂ければと思います。その中で、現役脚本家の立場から、脚本の構成や意図などもわかりやすく解説します。

【日時】

2019年2月17日(日)

1回目 14:30~17:30 ※14時10分から会場に入れます。

2回目 18:00~21:00 ※17時40分から会場に入れます。

(遅刻等での途中参加も可能ですが、料金は変わりません。1回目、2回目ともに扱う作品は異なります。両方の参加も可能です)

【会場】

studio ova (JR「原宿」から徒歩10分)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-31-8 FKビルB1

【参加費】

各回 3500円(場所代等含む)

(各回、遅刻等での途中参加も可能ですが、料金は変わりません)

(両方参加の場合は、2回目が1500円になり、計5000円になります。各回とも内容は異なります)

(夜の回終了後、希望者の方は講師と参加者による懇親会を予定しております。申し込みは当日のみ受け付けております。参加費は平均して2000円程度です)

【募集人数・参加資格】

各回12名まで。声優、俳優を志し、演技力の向上に意欲のある人。年齢・性別・経験は問いません。初心者の方も大歓迎です。

【お申込み・お問合せ】

下記アドレスまで必要事項を記載の上で、メールで受け付けております。

定員になり次第受付終了しますが、WS前日までお申込み可能です。

roudokupannda@gmail.com

メールに以下の必要事項をご記載ください。

(1) 参加希望日時と希望回 (1回目 2回目 両方)。

書き方の例：2月11日の1回目と、3月18日の両方を希望します

(2) お名前 (ふりがな)

(3) 性別、年齢

(4) 携帯番号

※お申し込み、お問い合わせいただいた方には上記メールアドレスから、詳細のご連絡させていただきます。なお、お預かりした個人情報は朗読パンダが厳重に保管し、本 WS に関する諸連絡以外に使用することはありません。